

小学生に読みきかせ その2

—高学年向き—

小学生に絵本の読み聞かせを行ってみようという方を対象にしたリストです。図書に関する記載事項は、書名・編著者名・画家名・訳者名・出版社・大きさ・ページ数・大阪市立図書館書誌ID・通して読むのにかかる時間の目安の順になっています。

あかてぬぐいの おくさんと 7にんのなかま イ ヨンギョン著・絵 かみや にじ訳 福音館書店
24×33cm 31p 0000771612 5分

針仕事の上手な奥さんがうたた寝をしている間に、はさみ、針、糸など7つの道具が、針仕事がうまくできるのは自分のおかげだと互いに自慢を始めます。言い争いをしたり、仲直りしたり、個性豊かな仲間と奥さんのやりとりを、ユーモラスな表情と落ち着いた色彩で描いています。

ウエズレーの国 ポール・フライシュマン著 ケビン・ホークス絵
千葉茂樹訳 あすなろ書房 25×28cm 33p 0000747216 10分

友だちのいない少年ウエズレーは、夏休みの自由研究で自分だけの文明をつくることにしました。自分の庭で新しい作物を育て、服を作り、ゲームや文字まで生み出す中、近所の子たちも一緒に遊ぶようになります。鮮やかな色彩と洗練された構図で、独創的な世界の広がり丁寧に描き出します。



うさぎのさいばん キム セシル著 ハン テヒ絵 かみや にじ訳 少年写真新聞社 26×26cm 32p
0010920668 6分

穴に落ちたトラを助けた若者が、そのトラに食べられそうになりました。トラの理不尽なふるまいに怒った若者は、松の木やウシ、そしてウサギに、トラが正しいかどうかを尋ねます。小さいウサギが知恵を使ってトラをこらしめる、痛快な韓国の昔話です。

エゾオオカミ物語 あべ弘士著・絵 講談社 25×27cm 32p 0011764765 4分

かつて北海道にたくさんいたというエゾオオカミは、100年ほど前に絶滅してしまいました。なぜそうなったのかを、フクロウがモモンガたちに語ります。迫力のある絵と静かな語り口が心に迫り、自然と人間の関りについて深く考えさせられます。

おとうさんのちず ユリ・シュルヴィッツ著・絵 さくま ゆみこ訳 あすなろ書房 26×26cm 32p 0011871135
8分

ぼくたち家族が戦火を逃れやってきた国では、過酷な生活が待っていました。食べ物も足りないのに、父はパンのかわりに世界地図を買ってきます。ぼくは腹をたてますが、地図をながめるうち空腹も忘れ、空想の世界が大きく広がっていきます。生きる力となる想像力のすばらしさが伝わってきます。

かえるの平家ものがたり 日野十成著 斎藤隆夫絵 福音館書店 29×31cm 41p 0010412912 8分

しわだらけのがまじいさんが、べんべんべんと琵琶をかき鳴らし、「ぎおんの おてらの かねの おと」と、かえるの子どもたちに源氏沼のかえると平家ねことの戦いを語り出します。七五調の文章と繊細な絵が物語の世界を広げます。

カワと7にんのむすこたち ークルドのおはなしー

アマンジ・シャクリー著 野坂悦子著 おぼ まこと絵 福音館書店 28cm 38p 0013492526 10分

鍛冶屋のカワには自慢の7人の息子たちがいました。ある日、悪魔の呪文により王さまパシヤの両肩から蛇が生えてきます。蛇への捧げものに男の子を差し出すよう命令する王から、カワは子どもたちを守るのでしょうか。柔らかな線と多彩な色合いの絵が、中東地域の英雄伝説を親しみやすく伝えます。

この世でいちばんすばらしい馬 チェン・ジャンホン著・絵 平岡 敦訳 徳間書店 26×32cm 37p

0011777213 8分

宮廷絵師ハン・ガンが描く馬は本物よりすばらしく、命が宿るというわさがありました。評判を聞きつけた武将が描かせた馬は、絵から飛び出し数々の戦で勝利をもたらしますが、やがて涙を流し始めます。水墨画技法で表現された大画面は迫力にあふれ、実在の絵師をモデルにした物語が心に響きます。

ちいさな ちいさな ーめに みえない びせいぶつの せかいー ニコラ・デイビス著

エミリー・サットン絵 越智典子訳 出川洋介監修 ゴブリン書房 30cm 32p 0013137881 7分

私たちの身の周りには、ちいさなちいさな生き物である微生物がたくさんいます。私たちの暮らしとの関りや、微生物が自然界で果たしている役割などをわかりやすい言葉で紹介します。洗練された表現と色使いの絵が印象深く、科学的な内容の理解を助けます。

ニューヨークのタカ ペールメール ーほんとうにあったおはなしー

ジャネット・ウィンター著・絵 福本友美子訳 小学館 30cm 32p 0011630796 6分

ニューヨークの高層アパートに、つがいのタカが巣を作りました。やがてヒナがかえり、子育てをする様子は、街の話題になります。ところがアパートの住人たちは、鳥の食べかすに悩まされます。都会に住む野生動物と人間の関係を、単純化した構図とはっきりとした色遣いの絵で、効果的に表現しています。

マグナス・マクシマス、なんでもはかります キャスリーン・T・ペリー著 S.D.シンドラー絵

福本友美子訳 光村教育図書 24×28cm 32p 0012123761 10分

マグナス・マクシマスは、ものをはかることが大好きなおじいさんです。ある朝、眼鏡が壊れ、何もはかれなくなりました。少年に誘われて一緒に海辺で遊ぶうち、はかること以外の楽しさに気がつきます。細かい部分まで描き込まれた絵が、ユーモラスできょうめんな人物の内面をうまくとらえています。

むこうがわの あのこと ジャクリーン・ウッドソン著 E.B.ルイス絵 さくま ゆみこ訳 光村教育図書

26×29cm 32p 0012194197 6分

町を仕切る大きな柵のむこうがわとこちらがわに住む、白人と黒人の女の子たちが、少しずつ距離をちぢめ仲良くなっていく様子を、写実的な絵で丁寧に描きます。人種の違いを軽やかにこえていく子どもたちや、黙って見守る親の姿に心がしみじみと温かくなります。

ゆらゆらばしのうえで きむら ゆういち著 はた こうしろう絵 福音館書店 31cm 37p 0010620265 9分

長雨で丸太1本になった橋に、きつねに追われてうさぎが逃げ込みます。2匹が乗ったとたん、丸太が土手からはずれてシーソーのように揺れ始めます。荒れ狂う川に落ちれば死ぬという状態で過ごすうち、2匹に連帯感が生まれます。迫力のあるお話と躍動感あふれる絵にひき込まれます。

リンゴのたび ー父さんとわたしたちがオレゴンにはこんだリンゴのはなしー

デボラ・ホプキンソン著 ナンシー・カーペンター絵 藤本朝巳訳 小峰書店 23×29cm 34p 0012577944 8分

大事に育てた果物の苗木を馬車に積み、少しおっちょこちょいなお父さんの指揮のもと、一家は開拓時代のアメリカ大陸を旅します。家族と果物を守るため、次々と降りかかる困難にもしっかりものの長女が立ち向かう姿から、家族のきずなと温かさが伝わってきます。